

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	教養Ⅲ 20e301		担当教員  (実務経験)	湊 久恵  有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 別紙1参照	
対象年次・学期	3年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 12単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)		90	時間数 180時間
授業目的	公務員試験の教養科目としての国語及び文章理解、人文科学、社会科学分野についての実力を養成する。 消防採用試験の教養試験に合格するための実力養成、社会科学・人文科学・文章理解の得点力アップ。				
到達目標	公務員試験に合格するための国語・文章理解、人文科学、社会科学分野の知識および解答テクニックを身につける。				
テキスト・ 参考図書等	絶対合格シリーズ 文章理解テキスト 絶対合格シリーズ 社会科学テキスト・社会科学問題集 絶対合格シリーズ 人文科学テキスト・人文科学問題集				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	定期試験、レポート、小テスト、等を基に総合的に評価する		
	レポート	10%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	10%			
履修上の 留意事項	1回～18回 担当:湊 久恵/国語辞典(電子辞書可、スマホ不可)を持参、ノートを準備する。学生の能力により内容を変更することがある。 19回～90回 担当:軽部 諭/テキストに沿って授業を展開する。必須な知識を定着させ、そこから連想して解答できるようになるよう、何度も単元を繰り返す。 一度学習したところと気を抜かず、取り組むように。ノートを準備。週初回授業では小テストを行う。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ガイダンス、自己紹介 (湊)	公務員試験の文章理解、故事・ことわざ		
	2	作文 (湊)	作文クイックマスター、道警試験の傾向と対策、故事・ことわざ		
	3	作文フィードバック、文章理解、国語 (湊)	作文の総括、文章理解(内容把握)、故事・ことわざ		
	4	文章理解、国語、英単語 (湊)	文章理解(内容把握)、単語リスト1、故事・ことわざ		
	5	文章理解、国語、英単語 (湊)	文章理解(内容把握)、単語リスト2、故事・ことわざ		
	6	文章理解、国語、英単語 (湊)	文章理解(内容把握)、単語リスト3、故事・ことわざ		
	7	文章理解、国語、英単語 (湊)	文章理解(内容把握)、単語リスト4、故事・ことわざ		
	8	文章理解、国語、英単語 (湊)	文章理解(空欄補充)、単語リスト5、故事・ことわざ		
	9	文章理解、国語、英単語 (湊)	文章理解(空欄補充)、単語リスト6、故事・ことわざ		
	10	文章理解、国語、英単語 (湊)	文章理解(空欄補充)、単語リスト7、故事・ことわざ		
	11	文章理解、国語、英単語 (湊)	文章理解(文章整序)、単語リスト8、故事・ことわざ		
	12	文章理解、国語、英単語 (湊)	文章理解(文章整序)、単語リスト9、故事・ことわざ		
	13	文学・芸術、国語、英単語 (湊)	日本古典文学、単語リスト10、故事・ことわざ		
	14	文学・芸術、国語、英単語 (湊)	日本古典文学、単語リスト11、故事・ことわざ		
15	文学・芸術、国語、英単語 (湊)	日本近代文学、単語リスト12			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	文学・芸術、国語、英単語（湊）	外国文学、四字熟語、単語リスト13
	17	文章理解、国語、英単語（湊）	SPI対策、四字熟語、単語リスト14
	18	文章理解、国語、英単語（湊）	過去問チェック、四字熟語、英文文章理解のコツ
	19	政治（軽部）	三権分立
	20	政治（軽部）	国会
	21	政治（軽部）	内閣
	22	政治（軽部）	裁判所
	23	政治（軽部）	日本国憲法
	24	政治（軽部）	地方自治・選挙制度
	25	政治（軽部）	民主主義の発展
	26	政治（軽部）	各国の政治制度
	27	政治（軽部）	自由権
	28	政治（軽部）	社会権・参政権・請求権・その他の人権
	29	政治（軽部）	国際政治と日本
	30	日本史（軽部）	古代～中世
	31	日本史（軽部）	近世
	32	日本史（軽部）	近代①
	33	日本史（軽部）	近代②、現代・文化史
	34	政治（軽部）	政治復習①
	35	政治（軽部）	政治復習②
	36	政治（軽部）	政治復習③
	37	経済（軽部）	経済のしくみ
	38	経済（軽部）	企業のしくみ・景気と物価
	39	経済（軽部）	金融政策
	40	経済（軽部）	財政政策
	41	経済（軽部）	為替レートと貿易・国際経済との関わり
	42	経済（軽部）	国民所得と経済成長
	43	経済（軽部）	現代日本経済の構造と課題
	44	経済（軽部）	経済学史
	45	政治（軽部）	政治復習④

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	46	政治（軽部）	政治復習⑤
	47	政治（軽部）	政治復習⑥
	48	日本史（軽部）	日本史復習①
	49	日本史（軽部）	日本史復習②
	50	日本史（軽部）	日本史復習③
	51	世界史（軽部）	古代～中世ヨーロッパ
	52	世界史（軽部）	近代ヨーロッパ～市民革命
	53	世界史（軽部）	ナポレオン時代～20世紀のヨーロッパ
	54	世界史（軽部）	帝国主義～第二次世界大戦
	55	世界史（軽部）	中国史①
	56	世界史（軽部）	中国史②
	57	社会（軽部）	社会保障・情報化
	58	社会（軽部）	労働事情・環境問題・農業問題
	59	日本史（軽部）	日本史復習④
	60	日本史（軽部）	日本史復習⑤
	61	日本史（軽部）	日本史復習⑥
	62	経済（軽部）	経済復習①
	63	経済（軽部）	経済復習②
	64	地理（軽部）	気候・地形
	65	地理（軽部）	地図～生産量・輸出入・発電
	66	地理（軽部）	アジア
	67	地理（軽部）	アフリカ・ヨーロッパ・ロシア
	68	地理（軽部）	北アメリカ～漁業・産業
	69	経済（軽部）	経済復習③
	70	社会（軽部）	社会復習
71	世界史（軽部）	世界史復習①	
72	世界史（軽部）	世界史復習②	
73	世界史（軽部）	世界史復習③	
74	世界史（軽部）	世界史復習④	
75	倫理・現代社会（軽部）	東洋の思想～現代社会	

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	76	倫理・現代社会（輕部）	倫理・現代社会まとめ
	77	地理（輕部）	地理復習①
	78	地理（輕部）	地理復習②
	79	地理（輕部）	地理復習③
	80	地理（輕部）	地理復習④
	81	倫理・現代社会（輕部）	倫理・現代社会復習
	82	時事（輕部）	時事問題
	83	政治（輕部）	総まとめ・択一对策
	84	政治（輕部）	総まとめ・択一对策
	85	經濟・社会（輕部）	総まとめ・択一对策
	86	日本史（輕部）	総まとめ・択一对策
	87	日本史（輕部）	総まとめ・択一对策
	88	世界史（輕部）	総まとめ・択一对策
	89	地理（輕部）	総まとめ・択一对策
90	地理・倫理・現代社会（輕部）	総まとめ・択一对策	



2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	救命応用  20e302	担当教員  (実務経験)	北川 正博  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 全国の救急救命センターにおいて救急医として救急医療に従事し、当該科目の教育を行う		
対象年次・学期	3年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	3単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	23	時間数	45時間
授業目的	国家試験に合格するための知識力向上を図る。				
到達目標	国家試験に合格するための知識を身に付ける。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	定期試験ならびにその他の結果により総合的に評価する		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	30%			
履修上の留意事項	国家試験対策が中心となります。過去問題演習の解答・解説中心の講義となり、より多くの実践問題をこなして行きます。1・2年次に学んだ知識の活用となります。これまで学んだ内容をしっかりと見直して授業に参加の事。授業内容を定着させるためにも復習は不可欠です。同じ問題でも二度三度と解き直しをしましょう。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	総合演習	人体の構造と機能・生体の構成とその役割		
	2	総合演習	神経系・感覚系・呼吸系・循環系		
	3	総合演習	消化系・泌尿系・生殖系		
	4	総合演習	内分泌系・免疫系・血液系		
	5	総合演習	筋骨格系・皮膚系		
	6	総合演習	成長・発達と老化・疾患・炎症と感染・循環障害		
	7	総合演習	代謝障害・組織の退行性進行性変化・腫瘍・奇形・損傷・死		
	8	総合演習	全身所見の観察・局所所見の観察		
	9	総合演習	重症度・緊急度・処置総論・処置各論		
	10	総合演習	心肺停止・ショック・循環不全		
	11	総合演習	意識障害・呼吸困難・発熱・頭痛・めまい		
	12	総合演習	運動・感覚・痙攣・胸痛・動悸・不整脈		
	13	総合演習	喀血・腰痛・背部痛・腹痛・吐血・下血		
	14	総合演習	血尿・性器出血・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛		
15	総合演習	神経・感覚・歯・口腔・呼吸・循環・消化疾患			

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	16	総合演習	泌尿・生殖・内分泌・代謝・電解質・血液・免疫疾患
	17	総合演習	筋・骨格・皮膚・感染症・小児・高齢者・妊婦・精神疾患
	18	総合演習	外傷総論・受傷機転・外傷性ショック・現場活動
	19	総合演習	頭部・顔面・頸部・脊髄・胸部・腹部・骨盤・四肢外傷
	20	総合演習	皮膚・軟部・多発・妊婦・小児・高齢者・スポーツ外傷
	21	総合演習	熱傷・電劇症・化学損傷・異物・総頸・絞頸・刺咬症
	22	総合演習	中毒総論・中毒各論・溺水・熱中症・偶発性低体温症
	23	総合演習	高山病・減圧障害・酸素欠乏症・凍傷・環境障害

授業科目 (科目ID)	研究基礎		担当教員	三上 剛人		
	20e303		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	看護師として救命救急センターに従事し、当該科目の教育を行う	
対象年次・学期	3年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	10	時間数	20時間
授業目的	研究に必要な基礎的能力を育成する。関連する研究論文を読み知見を広げる。					
到達目標	救急救命士に関連する研究をクリティークする。1つ以上の研究論文の要点をまとめ、発表できる。					
テキスト・ 参考図書等						
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	レポート、提出物により総合的に評価する。			
	レポート	80%				
	小テスト	%				
	提出物	20%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	研究論文を読めるように基礎を解説していきます。最終的には、論文を読み深められるように進めていきます。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	研究の概要	研究とは？救急医療における研究			
	2	関連学会	主に臨床救急医学会の学会誌を中心にした文献検索			
	3	文献選択	救急医療に関連する論文を読み込みます。			
	4	文献選択	救急医療に関連する論文を読み込みます。			
	5	レポート作成	読んだ論文が他者に伝わるようにまとめます。			
	6	レポート作成	読んだ論文が他者に伝わるようにまとめます。			
	7	小グループ討議	少人数で抄読会			
	8	小グループ討議	少人数で抄読会			
	9	大グループ討議	クラスルームでの抄読会			
	10	大グループ討議	クラスルームでの抄読会			
	11					
	12					
	13					
	14					
15						



2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	総合臨床救急 20e304		担当教員 (実務経験)	遠藤 貢 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	3年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	これまで学んできた知識を用い、傷病者の生命の危険を回避し、容態の悪化を防ぐとともに迅速に適切な医療機関を選定する能力を培う。				
到達目標	各病態を理解する能力・変化する病態を観察結果より判断することができる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	定期試験、小テスト、提出物により総合的に評価する		
	レポート	%			
	小テスト	10%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の留意事項	各種病態を分類し対応。変化する傷病の理解、過去問、想定問題、分野別問題を中心に行う。模擬試験、国家試験の対策も含む。				
	回数	履修主題	履修内容		
履修主題・履修内容	1	人体の構造と機能	人体の構造と機能・生体の構成とその役割		
	2	人体の構造と機能	神経系・感覚系・呼吸系・循環系		
	3	人体の構造と機能	消化系・泌尿系・生殖系		
	4	人体の構造と機能	内分泌系・免疫系・血液系		
	5	人体の構造と機能	筋骨格系・皮膚系		
	6	疾患の成り立ちと回復の過程	成長・発達と老化・疾患・炎症と感染・循環障害		
	7	疾患の成り立ちと回復の過程	代謝障害・組織の退行性進行性変化・腫瘍・奇形・損傷・死		
	8	健康と社会保障	保健医療制度・社会保障・社会福祉・保険制度		
	9	救急医療概論	救急活動の基本・救急救命士の役割と責任・法規・災害医療		
	10	救急医療概論	救急活動の基本・救急救命士の役割と責任・法規・災害医療		
	11	救急医療概論	全体所見の観察・局所所見の観察		
	12	救急医療概論	重症度・緊急度・処置総論・処置各論		
	13	救急医療概論	在宅医療・薬物・検査・感染とその予防・放射線		
	14	救急医療概論	コミュニケーション・ストレス・安全管理		
	15	救急症候・病態生理学	心肺停止・ショック・循環不全		

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	救急症候・病態生理学	意識障害・呼吸困難・発熱・頭痛・めまい
	17	救急症候・病態生理学	運動・感覚・痙攣・胸痛・動悸・不整脈
	18	救急症候・病態生理学	喀血・腰痛・背部痛・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛
	19	救急症候・病態生理学	血尿・性器出血・鼻出血・嘔吐・下痢・歯痛
	20	疾病救急医学	神経・感覚・歯・口腔・呼吸・循環・消化疾患
	21	疾病救急医学	泌尿・生殖・内分泌・代謝・電解質・血液・免疫疾患
	22	疾病救急医学	筋骨格・皮膚・感染症・小児・高齢者・産婦人科・精神疾患
	23	外傷救急医学	外傷総論・受傷機転・外傷性ショック・現場活動
	24	外傷救急医学	頭部・顔面・頸部・脊髄・胸部・腹部・骨盤・四肢外傷
	25	外傷救急医学	皮膚・軟部・多発・妊婦・小児・高齢者外傷
	26	外傷救急医学	熱傷・電撃症・化学損傷・異物・総頸・絞頸・刺咬症
	27	中毒・環境障害	中毒総論・中毒各論・溺水・熱中症・偶発性低体温
	28	中毒・環境障害	高山病・減圧障害・酸素欠乏症・凍傷・環境障害
	29	まとめ	
30	まとめ		



2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	特殊外傷各論  20e305	担当教員  (実務経験)	奈良 理  救命救急センターにおいて救急医として救急医療に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照		
対象年次・学期	3年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	16時間
授業目的	特殊外傷病態の的確な観察知識の習得。				
到達目標	特殊創傷の観察能力の向上と病態の理解ができる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	定期試験、レポートの結果により総合的に評価する		
	レポート	30%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	発生機序と病態を理解する。 特異な症状と応急処置を学ぶ。 社会的背景を捉えタイムリーな履修を主題とする。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	災害医療	災害について		
	2	災害医療	災害に対する救急隊の対応		
	3	外傷初期診療理論	外傷による損傷		
	4	外傷初期診療理論	外傷による処置		
	5	DMAT	DMATの実際		
	6	緊急度判断	JTAS、トリアージ		
	7	災害救助	近年の災害について		
	8	トピックス	蘇生医療の最新等		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					



2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	救急救命 20e306		担当教員  (実務経験)	阿部 鯛一  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 救急救命士として救急業務に従事し当該科目の教育を行う 別紙1参照		
対象年次・学期	3年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	7単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	158	時間数	315時間
授業目的	救急活動は症状・病態に適応した救急資器材を選定し適正に活用することが重要であることから、救急活動、病態及び取扱資器材の特性を理解する。					
到達目標	傷病者の状況を多方面から捉えることが出来る観察力と、病態鑑別に必要な考察力を身につけ、適切な処置及び病院選定を行うことが出来る。					
テキスト・ 参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	各項目ごとに実施される試験等の結果を基に総合的に評価する			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	○救急活動の中から病態を理解する。○病態に合わせた救急活動実技が主体。○メディカルラリーを通じ模擬現場活動を実施する。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	オリエンテーション	救急救命の進め方について			
	2	オリエンテーション	救急救命の進め方について			
	3	感染症対策①	感染のメカニズムとそれに対する予防処置について			
	4	感染症対策②	感染のメカニズムとそれに対する予防処置について			
	5	感染症対策③	感染のメカニズムとそれに対する予防処置について			
	6	感染症対策④	感染のメカニズムとそれに対する予防処置について			
	7	感染症対策⑤	感染のメカニズムとそれに対する予防処置について			
	8	感染症対策⑥	感染のメカニズムとそれに対する予防処置について			
	9	感染症対策⑦	感染のメカニズムとそれに対する予防処置について			
	10	感染症対策⑧	感染のメカニズムとそれに対する予防処置について			
	11	CBL(ケースベースラーニング)	救急救命についての流れや病態の理解・レポート作成			
	12	CBL(ケースベースラーニング)	救急救命についての流れや病態の理解・レポート作成			
	13	CBL(ケースベースラーニング)	救急救命についての流れや病態の理解・レポート作成			
	14	CBL(ケースベースラーニング)	救急救命についての流れや病態の理解・レポート作成			
15	CBL(ケースベースラーニング)	救急救命についての流れや病態の理解・レポート作成				







	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	76	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	77	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	78	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	79	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	80	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	81	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	82	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	83	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	84	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	85	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	86	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	87	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	88	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	89	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	90	CBL(ケースベースラーニング)	救急活動についての流れや病態の理解・レポート作成
	91	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	92	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	93	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	94	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	95	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	96	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	97	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	98	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	99	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	100	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	101	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	102	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	103	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	104	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	105	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	106	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	107	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	108	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	109	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	110	コミュニケーションスキル	傷病者に対するコミュニケーション技法
	111	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	112	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	113	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	114	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	115	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	116	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	117	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	118	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	119	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	120	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	121	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	122	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	123	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	124	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	125	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	126	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	127	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	128	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	129	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	130	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	131	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	132	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	133	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	134	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	135	メディカルラリー	傷病想定と現場活動

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	136	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	137	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	138	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	139	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	140	メディカルラリー	傷病想定と現場活動
	141	外傷処置	外傷病院前救護実習
	142	外傷処置	外傷病院前救護実習
	143	外傷処置	外傷病院前救護実習
	144	外傷処置	外傷病院前救護実習
	145	外傷処置	外傷病院前救護実習
	146	外傷処置	外傷病院前救護実習
	147	外傷処置	外傷病院前救護実習
	148	外傷処置	外傷病院前救護実習
	149	外傷処置	外傷病院前救護実習
	150	外傷処置	外傷病院前救護実習
	151	外傷処置	外傷病院前救護実習
	152	外傷処置	外傷病院前救護実習
	153	外傷処置	外傷病院前救護実習
154	外傷処置	外傷病院前救護実習	
155	総合活動演習	これまで学んだ内容を総合的に実践する	
156	総合活動演習	これまで学んだ内容を総合的に実践する	
157	総合活動演習	これまで学んだ内容を総合的に実践する	
158	総合活動演習	これまで学んだ内容を総合的に実践する	



2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	総合シミュレーションⅡ  20e307		担当教員  (実務経験)	阿部 鯛一  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 救急救命士として救急業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	3年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	90	時間数 180時間
授業目的	救急救命士の国家試験でも現場での実践力を問う状況設定問題が大きな比重を占めている。このことは、対応能力の重要性を理解することである経験を手掛かりに、学術的根拠に基づく行動を求める。				
到達目標	各種の情報から、症状(病態)を予測し一連の活動ができる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	各項目ごとに実施される試験等の結果を基に総合的に評価する		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	○各種救急事故を想定し実施する。○確実、迅速な行動を目標とし進める。 ※確実な手技の習得(指導)BVMから標準過程レベル、特定行為までの基本手技を完全に習得する。 ※履修年間授業計画は別途計画、見学時の取り組み方や姿勢、資器材の事前準備、撤収、救急隊として3名編成して実施することから欠時はしないこと。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	災害医療	集団災害とは、トリアージについて		
	2	災害医療	集団災害とは、トリアージについて		
	3	災害医療	集団災害活動		
	4	災害医療	集団災害活動		
	5	災害医療	集団災害活動		
	6	災害医療	集団災害活動		
	7	災害医療	集団災害活動		
	8	災害医療	集団災害活動		
	9	BLSインストラクション	BLS準備		
	10	BLSインストラクション	BLS準備		
	11	BLSインストラクション	1年生へのBLS指導		
	12	BLSインストラクション	2年生へのBLS指導		
	13	BLSインストラクション	歯科衛生学科へのBLS指導		
	14	BLSインストラクション	歯科衛生学科へのBLS指導		
15	プロトコール	器具気道確保			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	プロトコール	器具気道確保
	17	プロトコール	器具気道確保
	18	プロトコール	器具気道確保
	19	プロトコール	血糖測定・ブドウ糖投与
	20	プロトコール	血糖測定・ブドウ糖投与
	21	プロトコール	血糖測定・ブドウ糖投与
	22	プロトコール	血糖測定・ブドウ糖投与
	23	プロトコール	気管挿管
	24	プロトコール	気管挿管
	25	プロトコール	気管挿管
	26	プロトコール	気管挿管
	27	プロトコール	救急車内実習
	28	プロトコール	救急車内実習
	29	プロトコール	救急車内実習
	30	プロトコール	救急車内実習
	31	JPTEC	JPTECとは、基本事項
	32	JPTEC	JPTECとは、基本事項
	33	JPTEC	基本動作
	34	JPTEC	基本動作
	35	JPTEC	基本動作
	36	JPTEC	基本動作
	37	JPTEC	特殊症例
	38	JPTEC	特殊症例
	39	JPTEC	特殊症例
	40	JPTEC	特殊症例
	41	JPTEC	特殊症例
	42	JPTEC	特殊症例
	43	JPTEC	特殊症例
	44	JPTEC	学内認定(手技確認)
	45	JPTEC	学内認定(手技確認)

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	46	グループワーク	ジグソー法
	47	グループワーク	ジグソー法
	48	グループワーク	ジグソー法
	49	グループワーク	ジグソー法
	50	グループワーク	ジグソー法
	51	グループワーク	ジグソー法
	52	グループワーク	ジグソー法
	53	グループワーク	ジグソー法
	54	グループワーク	ジグソー法
	55	グループワーク	ジグソー法
	56	グループワーク	ジグソー法
	57	グループワーク	ジグソー法
	58	グループワーク	ジグソー法
	59	グループワーク	ジグソー法
	60	グループワーク	ジグソー法
	61	グループワーク	ジグソー法
	62	グループワーク	ジグソー法
	63	グループワーク	ジグソー法
	64	グループワーク	ジグソー法
	65	グループワーク	ジグソー法
	66	グループワーク	ジグソー法
	67	グループワーク	ジグソー法
	68	グループワーク	ジグソー法
	69	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)
	70	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)
71	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)	
72	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)	
73	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)	
74	BLS指導	中学生に対するBLS指導(米里中学校)	
75	グループワーク	医療機器管理実習指導案	

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	76	グループワーク	医療機器管理実習指導案
	77	グループワーク	医療機器管理実習指導案
	78	グループワーク	医療機器(サチュレーションモニターについて)
	79	グループワーク	医療機器(除細動器について)
	80	グループワーク	医療機器(12誘導心電図について)
	81	総合演習	プロトコール・CBL総括
	82	総合演習	プロトコール・CBL総括
	83	総合演習	プロトコール・CBL総括
	84	総合演習	プロトコール・CBL総括
	85	総合演習	プロトコール・CBL総括
	86	総合演習	プロトコール・CBL総括
	87	総合演習	プロトコール・CBL総括
	88	総合演習	プロトコール・CBL総括
	89	総合演習	効果測定
	90	総合演習	効果測定



